

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	令和4年度和泉市信太山丘陵里山自然公園協議会第1回企画運営会議
開催日時	令和4年10月31日（月）15時00分から17時00分まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター1階大集会室
出席者	別紙のとおり
会議の議題	別紙のとおり
会議の要旨	別紙のとおり
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	会議の公開・非公開： <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開 傍聴人数： 0人
審 議 内 容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
別紙のとおり	

**令和4年度和泉市信太山丘陵里山自然公園協議会 第1回企画運営会議
議事録**

【開催日時】 令和4年10月31日（月）15:00～17:00

【会場】 和泉市コミュニティセンター1階大集会室

【出席者】 令和4年度和泉市信太山丘陵里山自然公園協議会会員

（和泉市職員を除き各区分50音順）

区分	氏名	職名等
学識経験者	巖 圭介	桃山学院大学社会学部 教授
	藤原 宣夫	大阪公立大学大学院工学研究科 教授
	増田 昇	大阪府立大学 名誉教授
その他 前和泉市信太山丘陵保 全・活用検討ワークショップ 会員	田丸 八郎	
	三輪 健一郎	
団体会員	谷口 敏雄	信太の森FANクラブ代表
	梁取 征弘	いずみの国の自然館クラブ代表
和泉市職員（機構順） 市側会員	前田 淳	環境産業部環境保全課長
	関 憲司	環境産業部環境保全課 課長補佐
	平田 裕樹	環境産業部環境保全課 自然環境係長
	香山 幸輝	環境産業部環境保全課 自然環境係主事
	武市 直樹	都市デザイン部都市整備室 道路河川担当課長
	八野 豊徳	都市デザイン部都市整備室 道路河川担当総括主幹
	加藤 拓斗	都市デザイン部都市整備室 道路河川担当道路G主事
	村上 絢一	生涯学習部文化遺産活用課 主事
	山抱 正嗣	都市デザイン部都市整備室 公園緑地担当課長
和泉市職員（機構順） 事務局	横田 伸二	都市デザイン部都市整備室 公園緑地担当総括主幹
	岩田 真知	都市デザイン部都市整備室 公園緑地担当整備G総括主査
	増田 朋也	都市デザイン部都市整備室 公園緑地担当緑化推進G総括主査
	野間口 知基	都市デザイン部都市整備室 公園緑地担当緑化推進G主任
	村地 裕士	都市デザイン部都市整備室 公園緑地担当整備G主任
	藤原 祥平	都市デザイン部都市整備室 公園緑地担当緑化推進G主事

【次 第】

1. 開会
2. 議事
 - 1) 報告事項
 - (1) 活動報告
 - (2) 道路・公園整備状況に関する報告等
 - 2) 協議事項

(1) 第1期開園以降の管理運営内容

3. 閉会

【議事要旨】

1) 報告事項

(1) 活動報告

事務局より「資料1 活動報告」を説明し、報告内容に関する意見交換を行った。意見交換の概要は以下の通りである。

<保全活動>

- ・順応的管理ができるよう保全活動等の事後評価を行い、それをもとに令和5年度の各種取組みを検討していただきたい。

<名称>

- ・公開・非公開箇所の検討とあわせて、どの名称をパンフレット等で紹介していくか検討していく。まだ名称を検討していない道についても、同様に検討していく。
- ・管理棟（拠点施設）の名称は「信太山丘陵里山自然公園管理棟」であっても、市民に対してはビジターセンターのような名称の方がよい。

<緑の自然観察会>

- ・参加者アンケートでは、実際に観察会に参加した子どもにアンケートを取ってほしい。

<湿地保全>

- ・この公園の特徴である湿地をどのように公開していくのか考え、うまく広報していただきたい。
- ・貴重種が見られる場所があっても良いのでは。増殖についても今後、検討できないか。

(2) 道路・公園整備状況に関する報告等

事務局より「資料2 道路・公園整備状況に関する報告」を説明し、報告内容に関する意見交換を行った。意見交換の概要は以下の通りである。

<生き物横断管>

- ・最低限、生きものが移動できる状態にしておかなければならない。モニタリングの方法も含めて議論していただきたい。
- ・今年度の生き物の移動時期までに、生き物を誘導するための何らかの工夫を試みたい。

<ガラの除去等>

- ・管理棟（活動拠点施設）の後ろの斜面で子どもが遊べるよう、斜面の下のガラを除去して欲しいという意見を受け、既に工事業者に除去をしていただいている。
- ・コンクリートなど今の工事中に撤去できるものは、撤去しておいてほしい。
- ・全体的に長期に渡り捨てられてきたゴミが積み重なっている。保全活動にゴミ清掃を取り入れることも考えられるが、その際に集めたゴミは市で処分していただきたい。

2) 協議事項

(1) 第1期開園以降の管理運営内容

事務局より「資料3 第1期開園区域の管理運営内容」を説明し、説明内容に関する意見交換を行った。意見交換の概要は以下の通りである。

<管理棟（活動拠点施設）の開館日数>

- ・年間約150日以外にも、指定管理者の自主事業や協議会会員が行う観察会等の利用時に開館できるようにしてほしい。
- ・開館日数については、指定管理者と協議の上、柔軟に対応していきたい。

<備品>

- ・備品について1つ1つ議論をしていると時間がかかるため、別の日に、カタログと室内の様子を提示して議論できる場を設けていただきたい。

<植生管理>

- ・草刈り等の植生管理は、保全活動ミーティングで指定管理者と議論した上で、これまでどおり公民協働で管理を実施していく考えである。

<利用プログラム>

- ・ガールズスカウトなど他団体の持ち込みイベントの支援として、宣伝や利便を図る役割を指定管理者の業務に含めてほしい。
- ・企画運営会議で扱うものの中に、利用プログラムの進行管理や評価、支援を入れていただきたい。
- ・持ち込みプログラムの許可と支援については、今後、先生方にも相談して考えていきたい。

<その他>

- ・東側は、利活用の状況などを考慮して整備を進めていく。
- ・指定管理者の自主事業では、有料プログラムの実施も可能な方向で検討している。
- ・想定するスケジュールとしては指定管理者が3月議会で決定してから8月までの間を、準備期間として考える。
- ・管理運営については、今後、企画運営会議と事業・計画ミーティングで、引き続き協議していく。

以上